

I 調査概要

1 調査の概要

1-1 調査の目的

この調査は、県民の生活及び意識の実態を把握し、和歌山県男女共同参画推進条例第7条に定める基本計画の改定に当たっての基礎資料とすることを目的に実施した。

1-2 調査の方法

(1) 調査対象

和歌山県内在住の20歳以上の男女各1,500人
(平成27年4月1日現在で、市町村の住民基本台帳から無作為に抽出)

(2) 調査期間

平成27年6月24日(水)～7月28日(火)
(催促文書は7月21日に1回発送)

(3) 調査方法

郵送による調査票の配布・回収

1-3 回収状況

今回の調査は、3,000人を対象に調査票を郵送した。「拒否(白紙回答を含む。)」などの無効調査票はなかったため回答があった1,021票すべてが有効回収調査票であり、有効回収率は34.0%であった。

発送数	回収数	無効票	有効回収数	有効回収率
3,000	1,021	0	1,021	34.0%

※参考(前回の回収状況)

発送数	回収数	無効票	有効回収率	有効回収率
3,000	1,254	6	1,248	41.6%

2. 調査の内容

調査項目	質問項目
1 基本的属性	性別、年齢、家族構成、結婚の有無、職業、居住地域
2 男女平等意識	男女の地位の平等感 男女の決められた役割分担についての考え
3 家庭生活	平日、休日別の生活時間 自分の理想より短い生活時間 男性が家事、育児、介護に積極的に参加するために必要なこと 家庭での介護の担い手
4 子育てや子どもの教育	理想の子どもの人数、実際の子どもの人数 子どもの減少の理由についての考え 子育てについての考え 男女平等教育をすすめるために学校に期待すること
5 就労	女性の理想の生き方・実際の生き方 働く場で男女が平等でないと思うこと 就労意向の有無・希望する就労形態・就労の際に気がかりなこと 女性が継続的に就労するために必要なこと
6 社会活動、地域活動	現在参加している社会活動、地域活動 社会活動、地域活動を行う上で、問題になると思うこと 防災・災害対策で女性に配慮する必要があること
7 人権、DV（配偶者等からの暴力）	暴力と思う行為 配偶者や恋人からの暴力の経験 実際の相談先 相談しなかった理由 実際に求める支援 配偶者や恋人からの暴力についての相談窓口として知っているもの セクシュアル・ハラスメントだと思うこと メディアにおける性や暴力表現についての考え 性犯罪や配偶者からの暴力をなくすために必要なこと
8 男女共同参画施策	男女共同参画の言葉についての認知度 女性が増えるほうが良いと思う役職、公職 男女共同参画を推進するために力を入れるべきこと

3. 報告書における表及び図の見方

- (1) 図表の中で「N」とは、集計対象総数（集計対象を限定する場合はその該当対象数）を表している。比率は原則、各項目の無回答・不明を含む集計対象総数に対する百分比（%）

で表わしている。（例外は図表外に注意書きで記載）

- (2) 百分比 (%) は、原則として小数第2位を四捨五入し小数第1位までを表示した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- (3) グラフのスペースの都合上、0%を表示していない場合がある。
- (4) 図表中に次のような表示がある場合は、複数回答を依頼した質問である。
 - ・ 2 L A % (2 Limited Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合
 - ・ 3 L A % (3 Limited Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
 - ・ M A % (Multiple Answer) = 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合なお、複数回答を依頼した質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (5) 百分比 (%) どうしの比較における差は、原則として「…ポイント」という表現とした。
- (6) 図表では、コンピュータ入力の都合上、回答の選択肢を短縮している場合がある。
- (7) 調査結果にある全国調査比較の全国調査とは、平成24年10月に内閣府によって行われた「男女共同参画社会に関する世論調査」のことを指す。同様に前回調査比較の前回調査とは、平成22年7月～8月にかけて和歌山県が実施した「男女共同参画に関する県民意識調査」、前々回調査とは、平成18年7月～8月に和歌山県が実施した「男女共同参画に関する県民意識調査」のことを指す。
- (8) 調査結果の考察文中にある二重括弧 (『・・・』) は2つの選択肢を総合したことを表す。
(例: 「そう思う」 + 「どちらかといえばそう思う」 → 『肯定的意見』)
- (9) 性年齢別、結婚の有無別、職業別、居住地域別分析の図表では、それぞれ性別不詳、結婚の有無不詳、職業不詳、居住地域不詳の者がいるため、「回答者の属性」の数値と異なる場合がある。